

第5回 静岡市静岡地区LRT導入検討協議会

- 1 日 時 平成25年10月11日(金) 14時00分～16時00分
- 2 場 所 静岡庁舎 新館17階 170会議室
- 3 出席者 (委員) 久保田会長、瀧委員、坪井委員、山本委員、櫻井委員、
松本委員、村松委員、北村委員、丹羽委員(代理:南城)、
仲田委員、勝山委員(代理:牧野)
(関係者) 田村委員(代理:中谷)、諸田委員、
村松委員(代理:望月)、鈴木委員(代理:鷺坂)
(事務局) 松浦都市計画部長、小林交通政策担当部長、大滝参与兼
交通政策課長、吉川統括副主幹、竹下主査、鏡味主任技師
- 5 議 題 LRT導入協議会のまとめ
- 6 会議内容
- (1) 開会
 - (2) 開会あいさつ
 - (3) 議題説明
 - (4) 意見交換
 - (5) 会長とりまとめ
 - (6) 閉会

○議題説明

● LRT導入協議会のまとめ

以下の事項を事務局より説明

第4回協議会の指摘事項と対応(案)

静岡地区LRT導入協議会のまとめ

- ・第1回～第4回協議会の協議内容と指摘事項
- ・協議会での審議内容の要点
- ・今後の検討の方向性

○意見交換

<ルートについて>

・JR 静岡駅との結節について、LRT をどのようなルートで走行させるかによって、結節する箇所が必然的に決定する、ということではなく、その逆だと思う。便利な結節点に合わせ、市民にとって一番便利なルートを決定すべきである。足の不自由な人、高齢者あるいはベビーカーを引く人などの立場も考えてルートを決定してほしい。

<静岡鉄道との連携について>

・LRT 導入のための技術やノウハウについて静岡鉄道との連携を図り、静岡にふさわしい車両を導入すべきである。また静岡鉄道に乗り入れる場合、静岡鉄道の車両を LRT 化するのか、新しいシステムを取り入れつつ現在の車両をそのまま走らせるのかなど、これらの考え方をもう少し明らかにしてほしい。

<導入に向けた施策について>

・協議会のまとめでは、都市の交通としてなぜ LRT が必要なのか、どういうことを解決すれば都市が元気になるのかということについて、もう少し具体的に述べてほしい。

・高齢者や子ども、自動車に乗れない人にとって、LRT が本当に優しい公共交通だということを市民に呼びかけ、基金のような形で市民に少しでも資金面の支援をしてもらい、賛同の道を広げるといえるのはどうか。

<今後の方向性について>

・研究会や協議会、市議会の意見だけではなく、市民の意見を取り入れ、市民のニーズはどこにあるのか、都市が失っている機能を高めるにはどういうことが大事かということを考えながら計画を進めてほしい。

・次の検討の場では、公共交通としての LRT の重要性をさらに強調し、LRT 導入の実現を目指して議論してほしい。

○会長とりまとめ

・葵区では、ひとが回遊しやすく、歩いて楽しい魅力あるまちを創っていくこと、駿河区では、中心市街地とのアクセス性を向上させることが重要であり、公共交通で中心市街地にアクセスしやすく、中心市街地では公共交通がひとの回遊性を補助することができるまちづくりを目指す。

・LRT は中心市街地を走行することから、中心市街地へ流入する自動車交通の適正化を図り、LRT 導入による周辺交通への影響等を考慮する。

・都心の交通のあり方を大きく見直すことが重要であり、ひとを中心とするまちづくりと LRT 導入ルートについて今後も引き続き検討する。